

1. 川西市の重点方針
<p>元気でうまいのあるオンリーワンのまちづくりを実現するため、第4次総合計画後期基本計画「笑顔・ときめき川西プラン」に掲げる次の3点に重点を置いて施策展開を図ります。</p> <p>次代を担う子どもが健やかに育つ環境づくり</p> <p>市民の笑顔と元気がみなぎるまちづくり</p> <p>市民とともに築く未来に向けたまちづくり</p>

2. 教育振興部のサービス対象者		
〔対象者〕	〔現在の要求・期待〕	〔将来変化〕
幼児・児童・生徒	楽しい学校・幼稚園生活を過ごしたい 勉強、分かったりたい 体を鍛えたい 進路(先)決定 生き方学習	自己実現、夢の達成
保護者	確かな学力 豊かな心 健全な身体 個に応じた資質の向上 安全の確保	職業や個性を生かした自己実現や社会貢献
社会教育を活用する市民	新しい発見や文化・歴史・自然等を学習する機会の提供	発表の場の提供、社会貢献、ボランティア活動の機会提供

3. 教育振興部を取り巻く経営環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>学力の向上を中心とした「生きる力」の育成への対応</li> <li>きめ細やかな学習指導への対応</li> <li>幼稚園教育要領及び小・中学習指導要領完全実施への対応</li> <li>特別支援教育を要する児童生徒の増加への対応</li> <li>保護者や子どものニーズの多様化への対応</li> <li>家庭、地域の教育力への対応を基盤とした学校経営</li> <li>団塊の世代の大量退職に伴う若手教職員の資質向上</li> <li>園児・児童・生徒数の減少への対応</li> <li>幼保一体化への対応</li> <li>市民の学習意欲の増大(団塊世代の大量退職による要因を含む)</li> <li>公民館登録グループの活発な活動による社会参加</li> <li>地域貢献・ボランティア意識の醸成に伴う自主学習グループの活性化</li> <li>社会の変化に応じた学習ニーズの多様化</li> <li>文化財を活用した街づくり</li> </ul>

4. 教育振興部がめざす姿
<p>市民が生涯にわたって、住んで良かった、住み続けたいと思う「まちづくり」の推進に寄与できる。</p> <p>～市民一人ひとりが、質・量ともに、豊かな生涯学習を歩んでいる姿～</p> <p>〔教育ビジョン〕 豊かな生涯学習への道づくり</p> <p>3つの柱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自らの将来設計を創造し、「ひとり立ち」を支援すること</li> <li>顔と顔の関係を深め、「ふるさと思考」を育むこと</li> <li>「4つの力」で学びの協働を推進すること</li> </ul> <p>～ 家庭、学校・幼稚園、地域、行政の力～</p>

5. 教育振興部の現状		
(1)重要成功要因	(2)経営上の強み	(3)経営上の課題
<p>学力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修の改革</li> <li>体験活動の充実と心豊かな子どもの育成</li> <li>命を大切に教育の具現化</li> <li>地域に信頼され、支えられる学校・幼稚園づくり</li> <li>管理職との中学校区教育長懇談会(情報の共有・実践交流)</li> <li>ひとしく学べるための教育支援</li> <li>学生ボランティアの活用</li> <li>食育や保健体育を通じた健康づくり</li> <li>食育にかかるアレルギー対応 学校給食の充実</li> <li>子どもの安全と健全な育成を図る環境整備(耐震化等)</li> <li>連合PTA・単との連携</li> <li>中学校区における非行防止教室等の定着</li> <li>市民の学ぶ意欲を高める支援</li> <li>公民館・中央図書館の充実</li> <li>生涯学習センターを拠点とする多くの市民による地域や学校での教育活動の実践・充実</li> <li>学校支援地域本部事業の拡充</li> <li>ふるさと川西の文化と歴史の継承</li> <li>加茂遺跡・郷土館・文化財資料館等の活用</li> </ul>	<p>教育推進会議やミーティング等の意見、学習状況調査・アンケート調査等の検証結果を取り入れ、目標設定されたMPについて、目的意識を持ち効率的に取り組んでいる。</p> <p>打合せなどで、情報を共有し、室内での意見を充分取り入れ、改善を行っている。</p> <p>室同士・課同士等の連携により、情報を共有しボトムアップを図っている。</p> <p>アンケート(幼児・児童・生徒・保護者)、学校・幼稚園評価、学校・幼稚園関係者評価により検証を行っている。</p> <p>サービス対象者との定期的な会合、専門職員の配置など、意見・要望を受け入れる体制がある。</p> <p>市内10地域に公民館に配置し、年間180余りの講座を開催するなど、地域の教育力向上への取組体制が整っている。</p> <p>生涯学習短期大学創設19年の歴史の中で、学生に自主的な学習活動が自己実現につながるという意識が醸成されつつある。</p>	<p>市民の満足に向けて</p> <p>若手教員の増加に伴う資質の向上を図る必要がある。</p> <p>家庭教育力の低下に伴う地域力の充実のため、学校支援地域本部事業や学生ボランティア等の支援体制の拡充が必要である。</p> <p>快適な学習環境の提供に向けて、社会教育施設の整備、維持管理の充実が必要である。</p> <p>生涯学習短期大学卒業生の卒業後の実践機会の拡充が必要である。</p> <p>組織体質の改善に向けて</p> <p>教育推進会議を中心として各課室の意思疎通を図ってきているが、より一層の全職員への施策、MPの浸透を図り、質の充実を図る必要がある。</p> <p>事業内容により他部署との連携を強化する必要がある。</p> <p>公民館事業を含め、社会教育を進める上で、社会教育指導主事の配置と育成を行う必要がある。</p>

6. 教育振興部の重点目標
<p>(1) 市民満足の向上に向けて</p> <p>施策目標達成に対する施策事業(MP)を設定して取り組んでいるが、その具現化に向け、職員における重要施策等の浸透を図るとともに、さらなる職員個々の資質の向上を図り、組織全体の能力をこれまで以上に高める職場づくりを行う。</p> <p>教育推進会議をはじめ、室・課等のミーティング等を通じて、より一層の組織内の連携の強化を図り、教育協働を進め施策方針やMP実現を図るとともに、子どもたち・保護者・市民との信頼の確立に努める。</p> <p>(2) 組織体質の改善に向けて</p> <p>教育推進会議を継続的に実施し、組織力向上を図るとともに、室から課へ、課から職員への情報共有の推進を図る。</p>

7. 教育振興部の目標							
指 標	H19実績	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24末目標	
学習内容を理解していると感じている児童の割合(小6)	78.0%	72.6%	75.8%	84.2%	震災のため学力調査未実施	85.0%	
学習内容を理解していると感じている生徒の割合(中3)	65.0%	65.9%	59.9%	75.9%	64.8%	72.0%	
学校に行くことが楽しいと感じている子どもの割合(小学生)	83.0%	-	81.0%	-	夏までに集計予定	85.0%	
学校に行くことが楽しいと感じている子どもの割合(中学生)	73.0%	-	74.0%	-	#	80.0%	
いじめを受けたことがある子どもの割合(小学生)	39.0%	-	37.0%	-	#	38.0%	
いじめを受けたことがある子どもの割合(中学生)	27.0%	-	23.0%	-	#	23.0%	
住んでいる地域の学校の様子を知っている市民の割合	32.4%	35.0%	30.4%	35.5%	32.6%	35.0%	
保護者や地域の声为学校運営に反映されていると感じている市民の割合	18.5%	18.1%	13.0%	16.0%	17.2%	20.0%	
特別支援教育の充実度	31.0%	44.6%	51.3%	41.5%	31.9%	80.0%	
不登校児童・生徒の割合	0.9%	1.1%	1.1%	1.0%	1.3%	0.9%	
小学生肥満児出現率	6.8%	4.8%	-	5.6%	5.1%	6.0%	
朝ごはんを必ず食べる子どもの割合(小6)	87.0%	85.0%	89.2%	91.8%	震災のため学力調査未実施	90.0%	
朝ごはんを必ず食べる子どもの割合(中3)	82.0%	80.5%	82.8%	91.1%	90.5%	85.0%	
学校・園施設の耐震化率	39.8%	40.0%	43.1%	53.2%	67.6%	74.7%	
子どもをまもる110番のおうち軒数	1,804件	1,932件	1,980件	2,052件	2,098件	2,200件	
生涯学習の条件が整備されていると感じている市民の割合	20.4%	23.4%	20.2%	16.8%	18.4%	21.0%	
過去1年間に継続して生涯学習に取り組んだ市民の割合	19.0%	35.5%	31.6%	34.2%	32.4%	19.0%	
川西の歴史に興味がある市民の割合	66.8%	68.5%	68.4%	68.2%	64.0%	70.0%	
市民満足向上目標	教育広報紙「川西きょういく」、ホームページ、教育委員会だより「笑顔・ときめき」等による教育施策やHPに直結した内容の充実と時宜にかなった適切な発信に努め、市民・保護者・子どもたちのニーズに応える。	32回	37回	38回	44回	38回	44回
次長級職員対象の教育推進会議はもとより、課長級職員まで対象とした拡大教育推進会議を定期的に開催する。月1回実施する中で、常に進捗状況の把握と情報の共有を行い、知恵を出し合い、施策事業(MP)の達成に近づける。	2回	6回	12回	12回	12回	12回	
施策事業(MP)を達成するために個々の職員及びチームで、より具体的なMP、すなわち、「行動MP」を明確にし、実践を深める。より一層、職場ミーティングの実施と日常からの「ほう・れん・そう」を徹底・励行する。	毎日実施	毎日実施	毎日実施	毎日実施	毎日実施	毎日実施	